

書塾の仲間たち

第 275 回

こうすい
高水書道教室（山形県山形市）



●書塾からひとこと●

私たちの教室では、書く楽しさや書道を通して得られるさまざまな発見、体験、そして続けることで深まっていく喜びを、子どもにも大人にも味わってほしい……そんな想いを大切に、日々の稽古に取り組んでいます。

スマートフォンやパソコンなどのデジタル通信が主流となる現代において、筆を持ち、静かに自分の手で文字を書く時間は、今ではかえって非日常的で、特別感のある新鮮なひとときだと思います。デジタル機器の画面に触れることが当たり前の毎日の中で、手で書き、墨の香りを感じながら一画一画に集中する時間は、心を落ち着かせ、自分自身と向き合う貴重な時間でもあります。

書道は、文字を美しく書く技術だけでなく、集中力や継続する力、心を整える姿勢を育んでくれる素晴らしい学びだと思えます。昇級・昇段試験や展覧会への挑戦では、目標を持って「自発的に」努力する経験を大切にしていきます。

コツコツと稽古を続ける生徒さんの姿からは、書の上達はもちろん、それ以上に内面の大きな成長を感じます。そして指導する私自身も、より一層学び続け、成長していかなければと身の引き締まる思いがいたします。これからも生徒さんと共に成長しながら、書道に向き合うこの特別な時間を大切に、手書きの良さと書の楽しさを伝えていきたいです。

高水書道教室 渡辺 高水

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

中二 今野 慧杜
梅花香る



集中力が格段に上がりました

山形県寒河江市立陵西中学校二年 今野 慧杜

僕は書道を習い始めるまでは、思うように字が書けず、書道への強い苦手意識がありました。そんなとき、小学校の書写の授業でクラスで一番上手な人の作品を見て、「自分も何かに全力で取り組めるようになりたい」と思ったのがきっかけで、中学生になってから書道教室に通い始めました。

書道を習ってよかったことが二つあります。一つは、全日本書初め大覧会の席書大会に出場し、人生で初めて日本武道館に行けたことです。初めての経験で緊張したものの、本番では練習通りに書くことができて、良い新年を迎えることができました。二つ目は、自分の書いた字をほめられる機会が増えたことです。書道教室でもたくさんほめてもらえますが、学校の書初めでクラスの人からほめられたときは特に嬉しく、これまで頑張ってきたよかったと思えたり、自信もつきました。

今後は、日本武道館での席書大会に再び出場できるように、もっときれいな字を書けるよう頑張ります。次の席書大会は中学生として最後の大会なので、前回いただいた特選以上の賞を目指します。そして、目標である書道の「師範」になれるように、長い時間をかけて稽古に励み、努力を重ねようと思います。

書道を続ける中で、気がつく集中力が以前よりも格段に上がったことも実感しています。以前は数分しか集中できませんでしたが、今では休憩をはさみながら三十分から一時間は集中して取り組めるようになりました。これからも書道を通して、もっと自分が成長していけるよう頑張ります。

私と書写書道 第275回

中秋雲浄出 滄海平
桓露寒、當碧石天



「気持ちを含めて書く」ことの大切さを知りました

山形県立寒河江高等学校三年 小泉 諒泰

私は小学二年生の時、母に勧められて、姉と一緒に書道を習い始めました。初めのころは、何枚書いてもお手本のように書けず、文字の特徴を捉えることや、自分の手と筆で再現することの難しさを痛感したのを覚えています。

学校での書初め大会や外部での作品展では、賞をいただくことは何度かあったものの、自分より上位の賞を取る同級生の姿を見るたびに、悔しい気持ちを感じていました。

そのような私に、高校生活で大きな転機が訪れました。それは、先輩の卒業を祝うために生徒会として階段アートを制作したことです。初めて手本を見ずに書くことや、大きな紙に書くことにとっても緊張しましたが、心き終えた後の達成感や、作品を見て喜んでくれる人たちの笑顔を見て、心の底から「書道を続けていてよかった」と感じました。それ以来、「結果」ばかり意識するのではなく、書道に取り組むこと自体がより一層楽しく、好きになりました。また、この経験は自分に自信を持つきっかけにもなったように思います。

現在、私はお手本のように書くだけではなく、「自分の気持ちを込めて書く」ことに魅力を感じています。今後は、さらに技術を磨くとともに、自分の軸を持ち、人に感動を与えられるような作品を書けるよう励んでいこうと思います。